



第8回日本木材保存協会功績賞

「主に道産材に対する木材保存処理・評価技術と実大材の腐朽評価方法に関する研究及びそれらの普及・広報活動への貢献」

森 満範 ((地独)北海道立総合研究機構 林産試験場)

1987年3月北海道大学農学部林産学科卒業。藤森工業(現 ZACROS)株式会社研究所勤務を経て、1992年8月北海道立林産試験場(現 北海道立総合研究機構林産試験場)に入庁。2005年 耐朽性能科長, 2008年 主任研究員(研究主幹), 2014年 利用部長, 2024年 専門研究員, 現在に至る。

業 績 概 要

CCA の代替として上市された新規木材保存剤を皮切りに、様々な木材保存剤の道産材に対する処理適性、木材保存剤および保存処理道産材の性能評価に携わってきました。また、多様な環境における保存処理材の耐朽性評価を行うとともに、道内自治体における講義・講演会等を通して木材保存処理に係る普及活動を行ってきました。また、道内外の業界に対しても保存処理薬剤の分析や保存処理材の耐朽性評価、インサイジング刃・刺傷パターンの設計など、様々な形で支援してきました。さらに、実大構造体の任意の箇所を腐朽させる方法(腐朽源ユニット法)も開発し、様々な腐朽を想定した構造体の強度低下の挙動を把握できるようになり、国内の他の関連研究においても汎用されるようになりました。

公益社団法人日本木材保存協会との関わりについては、1995年以降、協会内の多数の委員会等に参加し、木材保存に係る技術開発や評価技術に加え、「木製外構材のメンテナンスマニュアル」の執筆、広報委員として「木材保存」誌を通しての広報・普及活動、木材劣化診断士資格検定事業への協力(講師)など、日本木材保存協会の運営に貢献してきました。

研 究 業 績

- 1) Mitsunori MORI, Masakazu AOYAMA, Shuichi DOI: Antifungal constituents in the bark of *Magnolia obovata* Thunb, Holz als Roh-und Werkstoff, 55 (4), 275-278 (1997).
- 2) 森満範, 三浦真由己, 菊地伸一: ハホウ酸ナトリウム四水和物で処理したランバーコア合板の防腐性能, 木材保存, 28 (2), 61-67 (2002).
- 3) 森満範, 桜井誠, 宮内輝久, 杉山智昭: 軽微なナミダタケ腐朽材における表面処理用木材保存剤の効果, 木材学会誌, 53 (5), 269-275 (2007).
- 4) 森満範: 木造住宅における腐朽診断の現状と腐朽菌検出技術の動向, 木材工業, 63 (4), 158-163 (2008).
- 5) 森満範, 戸田正彦, 大橋義徳, 平井卓郎: 腐朽した住宅用部材および接合部の非破壊評価, (社)日本木材保存協会第24回年次大会研究発表論文集, 44-45 (2008) (第24回年次大会 第1回ベストポスター賞).
- 6) 森満範, 宮内輝久, 東智則, 杉山智昭: 旭川暴露試験地における野外耐朽性試験(Ⅲ) - 水辺を想定した人工池における野外耐朽性試験 -, (社)日本木材保存協会第25回年次大会研究発表論文集, 44-45 (2009) (第25回年次大会 第2回ベストポスター賞).
- 7) 森満範, 宮内輝久: 北海道の海洋環境下における保存処理木材の海虫抵抗性, 第60回日本木材学会大会研究発表要旨集 CD-ROM PN007 (2010).
- 8) 森満範, 宮内輝久, 東智則, 山田昌郎: 海洋環境下における保存処理木材の耐久性(その2) - 横須賀市における暴露48ヶ月間の結果 -, 第62回日本木材学会大会研究発表要旨集 CD-ROM N15-P-PM13 (2012).
- 9) 戸田正彦, 森満範, 高橋英明, 狩俣隆史, 平井卓郎: 構造用木質面材料の腐朽が釘接合せん断性能に及ぼす影響, 木材学会誌, 59 (3), 152-161 (2013).
- 10) 山田昌郎, 森満範: 臨海部での暴露実験による木材の風化速度の検討, 木材工学論文報告集, 19, 1-9 (2021).